

📷 7月定例会のご案内

「杉崎さんによるオーディオ講座」

8月のホール撮影実地練習会の前に、ビデオハウスの杉崎さんによる練習会前講座を行います。

プロの納品する映像は、お客様に満足していただくためには、画はもちろんのこと音にもハイレベルなものが求められます。8月のホールでの実地練習に臨む前に、音をしっかりとるために必要な知識・技術・機材などについて杉崎さんに講義していただきます。

日ごろの撮影で「音」にお悩みの方は、必見の講座となると思います。みなさま奮ってご参加ください。

ビデオナービズネット(日本映像製作者協会)とは個人規模で映像関係を業務としている事業者及びそのことに関わっている者の組織です。

公式WEB <http://www.videoner-biznet.net>

次回定例会は

日時 2018年7月19日(木) 19時~21時

場所 日暮里サニーホール 第1会議室

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5

ホテルラングウッド5階 03-3807-3211

JR・京成日暮里駅より徒歩5分

👥 6月定例会のご報告

「映写会」

6月は恒例の映写会でした。15:30集合で事務連絡後、16:00から上映が開始されました。

各人の持ち時間は20分、今回もテーマを決めずに開催されましたが、それがかえって、各人の長所がいかに発揮された映像作品発表の場となったようです。

お客様に喜ばれるよう各会員が工夫している点、こだわりの点など、大いに参考になったようです。活発な質疑応答も行われ、充実の映写会になりました。詳細につきましては会員コラムの野上さんの原稿をご覧ください。



✍️ 会員コラム

高橋さん「西湘のビデオ屋稼業」

吉岡さん「よっしーのお手伝い日記」

野上さん「映写会に参加して」

が続きます！

写真撮影の体験談。

数年前、この西湘地区では比較的大型園になる顧客幼稚園さんから、「長年出入りしている写真屋さんが廃業することになったので、どなたかを紹介してほしい」と頼まれた。「お客さん」は何かあると、まずは人間関係の中にツテを求めてこられることも少なくない。

早速に心当たるがヒットせず。そうこうしているうちに園側から「それならば高橋さんがやればいいのか」と！！なってしまう！！、結局カメラ販売店へ走ることに。写真撮影の腕は初心者と心得てはいるものの「何とかなる…いや、する！」とつい、いつものクセが出てしまう。購入目的は一眼レフ一式だが、さすがにフルサイズ機には手が届かず APS-C が愛機となる。

さて撮影の実際では「ビデオ撮影」と「スチル撮影」とではその違いに予想以上の開きを実感。ガイド本を頼りに何かと型や作法に当てはめて撮っても、不納得の出来栄え。撮影からプリントまでの一連の作業はいつもナーバス気味にての格闘となっていた。特にフラッシュの取扱いはいつまでたっても要領がスッキリとせずに混乱が続く。

現在、写真撮影は他にも頼まれている幼稚園さんがあって、そこでは発表会、卒園式、遠足の集合写真を、ビデオ撮りと併せてお世話になっている。撮影時の仕切りでは全く不得手ゆえ、中々キチンとそろわないひな壇。でもその園は、「あまり気にしないで撮ってください」と言われる。だからシャッターを押したその画面は結果、どうであれ「その時のありのまま」を写していることになる。そうして出来上がった集合写真には、横を向いた園児が一人写っているだけで、空気が漂い動きを感じてしまう。これ、きれいではない。（この視点はビデオ屋感覚かも）

いずれも「お客さんからの要望」で撮り始めた写真。相変わらず手こずることもあるが何とかやり繰りできている。微々たる売り上げで、一番は「お客様のお役に立とう」というつもりなのだが、ビデオとはまた違う面白さを感じることも少なくない。

写真屋さんとは、ビデオ撮影という仕事柄、様々な現場でいろいろな方と出会い、やがて顔見知りになっていく。

興味深いのは経験豊富な皆さんに「写真の撮影技術なるもの」のお尋ねをしてみると、ほとんど各々自分なりの撮り方を持っていられた。多くの実戦を経て身に着けられたそれぞれの手法には、その方だけの世界（道）もあるのだろう。

（——そうか、それはビデオにも言えることか——）

撮影したデータは試行錯誤を経て、今は Lightroom や Photoshop で必要に応じた補正やテキスト（行事名・年月日等）を入れて写真原版を作成している。（どちらのソフトもかなりの旧式バージョンだが使い慣れているので中々最新版には至らない）

※そのほか Lightroom については、EDIUS のタイムライン上で切り出した「静止画像」の調整にちょいちょい利用していて、その効果を実感できている。特に盤面用の画像データの調整にはよく使っていて、ざらッとしているノイズをまったく減らしてみると、印刷時の具合がかなり自分の好みに近づいて、うれしくなってくる。

よっしーのお手伝い日記 (3)

アソシネット株式会社 吉岡

ゆうばりビデオグラファー、小学校運動会

この小学校の運動会は、以前にもお手伝いをしたことがある。その時は2人で撮っていたが、今回は「あっぶるこあ」の脇田さんを変え、3人体制だ。予定では、19日(土)本番、20日(日)は雨等で延期になった場合の予備日に当てている。

各種目ごとに役割とカメラ位置を書いた資料をメールで受け取る。

高橋さん(ゆうばりビデオグラファー)と脇田さんはフィールドの外から各種目を撮り、私はフィールドの中に入って、近くから児童を撮るようだ。

私の撮影ノート(※撮影の仕事をした時には、撮影内容や所感をノートにメモっている)に書いたものを読み返してみる。前回は、熱中症気味で、辛い思いをしていたらしい。そうか、ここから本格的に、運動会の熱中症を注意するようになったのか。

今回は、帽子はもちろんのこと、登山用の通気性の良いズボン、スポーツ用のポロシャツ。寒い場合に備え、通気性の良いスポーツ用の上着を用意。以前の、ジーパンに、綿のポロシャツに比べれば、かなりスポーティな装いである。

私は、小型カメラ(ハンディカム)とそれに合った三脚なので、持ち物は軽い。バッテリーは大き目のものを2個用意した。ハンディカムと言っても、LANCのリモコンが使えるので、わりとそれっぽい映像になる。

2018年5月18日(金) 神奈川県小田原市

明日の本番の待ち合わせは、朝6:00。高橋さんの小田原方面のお手伝いは、だいたい前泊をする。夕方、小田原に到着、あらかじめ予約していたビジネスホテルへ向かう。

明日は、午前が雨、午後が晴れの予報。高橋さんから何度か、明日の連絡のメールが入る。明日は少し時間を遅らせて開始するとの判断らしい。合流を朝7:00に変更。

前日の夜などは、イメージトレーニングをする場合が多い。中には、カメラと三脚、リモコンを使って、イメージする場合もある。納得がいくように、一通りのイメージやリモコン操作をシミュレーションする。

2018年5月19日(土) 神奈川県小田原市

7:00、ホテル前に高橋さんが迎えに来た。脇田さんも同乗している。

開口一番、今日の運動会は延期との連絡があった旨が告げられる。ホテルへ行き、今日の予約を入れる。

近くの喫茶店で、資料を見ながら、運動会の打ち合わせをした。私は、しゃがんで低い位置からの撮影。去年一度、一日しゃがんでの運動会の撮影をやったが、足がパンパンでガクガクで、けっこう大変な思いをし

た。しかし、今回は休める演目もあるので、どうにかなるだろう。

カメラ位置はだいたい決めているものの、フィールドの中に入るといことは、その時々判断が重要になりそう。

脇田さんと別れた後、高橋さんの案内で小田原の港と、かまぼこ工場を見学する。高橋さんと別れた後は小田原城を見学に行き、15:00 ビジネスホテルに行く。

もう一度、イメージトレーニング。

2018年5月20日(日) 神奈川県小田原市

6:00、高橋さんと脇田さんと合流。

寒っ!!

暑くなることを前提の服装なので、この寒さの用意がない。とりあえず、普段着用のTシャツを中に着ることにした。それでも、ずいぶんマシになった。

現地に到着し、カメラの準備を行う。校舎の2階に全景が入る固定のカメラを設置する。点描カットを数点。高橋さんのDVDのオープニング等に使うものだが、あまり長い時間にはしないようだ。

脇田さんのカメラは、NDフィルタが内蔵されてないらしく、NDフィルタをレンズに取り付けていたが、セッティングが難しそうだった。

高橋さんと脇田さんは定位置に。私も想定の位置にスタンバイ。

開会式。朝礼台付近をきちんと撮れるのは私のカメラだけだ、という勢いで臨む。

目標があるものは撮りやすい。準備体操や、ダンスもそうだが、誰を撮るでもないものは、どう撮るのが正解か、未だに答えが見つからない。

今日は雲が早く、明暗が交互に繰り返される。私はハンディカムで、難しい設定はしていないが、明るさだけは手動で調整していたので、ずっと細かく調整していた感じだった。

私の場所は、ほぼ炎天下なのだが、寒さもあって、意外と心地よい。リレーなど、私の出番がない時は、日陰になる場所で待機。カメラは回しっぱなしだが、待機の際は、カメラワークの練習をしていた。

高橋さんはずっと日陰で、薄いウィンドブレイカーのようなものを着ていたが、それでもかなり寒がっていた。

しゃがんでの撮影は、午前中は良かった。午後から、だんだん膝が痛くなり、種目を2つ3つ残すあたりでは、しゃがんでしまうと、どこをどう曲げても膝が痛い。それでも集中を切らすまいと、耐える。

昔から、運動すると膝を痛めるのが難だ。冷却スプレーを使うと、次の日には良くなっているのだが、今度から検討を試みよう。

帰りの電車の中では、脇田さんとビデオ談義だった。

以上

6月定例会「映写会」に参加して

6月の映写会の感想でございますが、初めてプロの方々の作品を拝見いたしましたので興奮しております。決してアマチュアの世界では感じる事ができない物ばかりでございました。会長・副会長お二方の会員の人達に対する映像とはこういうふうに撮るのだよという、先輩としての基本姿勢を示す作品を始めとして会員の工夫を凝らされた作品上映会は成功裏に終えたことをレポートさせていただきます。

脇田さんのトップバーターで始まりました。劇場シーンでの撮影時と仕上がりの色味の捉え方には大変興味がありました。考え方が人によって違うことも感じた。クライアントというのか映像を依頼する人・現場で照明をする人と複雑なまでに深い事を知りました。

近藤副会長さんの運動会の3カメラ合成での仕上げ映像には、絶対近代的な撮影方法を研究されている斬新さを感じました。資料もどうやって撮ったのかを充分説明してあげようという姿勢に頭が下がります。

高橋会長のお泊まり保育資料と実際の出来上りの映像にはとても分かりやすくお人柄が分かる(几帳面)優れた映写会でございます。あそこまで追って2時間に仕上げるエネルギーは超人的と言えます。多分経験を積み、保育園さまとの信頼関係が築かれているから出来るお仕事だと推察いたしました。

今回初めてお会いしたカメラシステム研究所の所長、峰間(みねま)さんのブラスバンドの動きのあるフォーメーションには驚かされました。俯瞰された絵全体のマスゲームと音楽が調和され映像化できている点でNHKもびっくりするほど素晴らしかったです。

上河さんと福田さんはスタジオでのバレエを偶然にも対比して見る事が出来ました。今までアマチュアではとても自覚すら出来なかった、バレエ衣装の白飛び、ホワイトバランス、色温度、パンニングの微妙な意識、空間の空け方などを学ばせて頂きました。上河さんのピアノ演奏は群を抜いたマルチ編集で御座いました。

佐藤さんの建築映像、プールの絵、飛び込んだシーンとドローンと、AfterEffectsやRICOH-THETA-Vカメラの斬新な映像チャレンジは他の会員の良い刺激になったと思います。

松本さんのスタジオのバンド撮影で魚眼レンズ・エレクトーンの方を描写されていましたが、びっくりしました。

吉岡さんのモデルさんを独り占めにして浜辺での撮影(九十九里浜でのフルシーズン版をコンテにして撮影チャレンジ)白いワンピースと帽子とディゾルブで繋いだ絵には若さを感じさせるものがありました。波間に置かれた白い帽子がとても印象的でした。

昨年会報183号に寄せられた「西湘のビデオ屋稼業③」高橋昌一さんの執筆された文章を参考にして、「撮影会」の報告をさせて頂きました。入会間もない会員の為、間違いがございましたらば御容赦ください。

(文責：野上五十満)